

平成 15 年度 SGST 総会および第 1 回研究会 議事録

日時 : 平成 15 年 4 月 15 日(火) 15:30~17:30

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

講師 : 上野谷先生(福山大)

出席者: 青木(愛工大), 安藤(瀧上), 泉野(玉野 C), 佐藤(中日本建設 C), 海老澤(名工大), 小川(名古屋道路エンジニア), 小澤(日本車輛), 小塩(名大), 尾関(瀧上), 落水(コベルコ科研), 嘉津(川田テクノシステム), 勝俣(佐藤鉄工), 加藤(長大), 加藤(瀧上), 川尻(JFE エンジ), 河野(東海鋼材), 櫛田(帝国建設 C), 小澤(建技研), 事口(大同工大), 近藤(名城大), 塩見(中部大), 杉浦(日本構研情報), 鷺見(八千代エンジ), 竹之内(施工技術総合研究所), 立花(新日鐵), 館石(名大), 田中(日本車輛), 忠(豊田高専), 鳥本(中央 C), 中川(瀧上), 本間(日本車輛), 牧野(玉野 C), 酒造(大同工大), 水澤(大同工大), 水野(篠田製作所), 宮下(JIP テクノサイエンス), 山田(名大), 山田(トピー), 吉田(川田), 39 名(敬称略)

1. 総会

(1)代表挨拶 塩見代表

(2)規約の改定について, 名誉代表追加の件が総会です承された。

(3)平成 14 年度活動報告

1)SGST 総会, 定期研究会 6 回, 懇親会 3 回が行われた。

2)SGST 研究委員会の報告が行われた。

「撤去を伴わない橋梁の改良設計にかかわる検討」(山田代表:代理近藤)

委員会 7 回開催, 内容は主に事例の研究, 1 月末に見学会開催, もう 1 年継続。

「移設再利用鋼トラス橋の性能評価の事例研究」(梶川代表:代理小澤)

内容は資料収集等, 発表準備済み

3)ホームページの改定が報告された。

4)KABSE との交流 (会報, 論文集を受理) が報告された。

5)H13 年度活動資料集の作成が報告された。

(4)平成 14 年度の会計報告がなされた。

(5)平成 15 年度の運営体制について, 新代表・新幹事の紹介・承認を行った。

(6)新代表挨拶, 新幹事長の挨拶

(7)平成 15 年度関連議事

1)委員会テーマの募集, 見学会の開催について幹事会で検討する旨報告

2)研究会は従来を踏襲し, 2ヶ月に1回開催する予定。

3)水澤研究会担当幹事より SGST 研究会を CPD 認定することについての説明があった。

2. 定期研究会 (海老澤研究会担当幹事)

講演「鋼構造物の耐震性工場に関する研究」(福山大学 上野谷先生)

板厚テーパ補剛板を用いる方法と, 低降伏点鋼をウェブに用いる方法で耐震性能を向上させる手法について, 実験事例を元に研究成果の紹介があった。

3. 懇親会

以上//

平成14年度SGST会計報告

平成15年4月3日

平成14年4月1日～平成15年3月31日現在

【収入】

昨年度繰越金	6,470,027円
会費収入	2,537,000円
研究委員会返却分	735,264円
利息	184円

合計	9,742,475円
----	------------

【支出】

講演謝礼および交通費	818,310円
郵送費	800円
懇親会費	177,236円
会議費, アルバイト代および雑費	114,766円
印刷費	589,680円
次年度繰越金	8,041,683円

合計	9,742,475円
----	------------

以上の報告に相違ありません

会計監事

杉浦茂浩

平成 15 年度 SGST 第 1 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 4 月 15 日(火) 14:00~15:20

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者: 事口(大同工大), 酒造(大同工大), 水澤(大同工大), 小塩(名大), 海老澤(名工大), 塩見(中部大), 小澤(日本車輛), 田中(日本車輛), 安藤(瀧上), 中川(瀧上), 加藤(瀧上), 杉浦(日本構研情報), 山田(トピー), 13 名(敬称略)

幹事会議事内容

1) 規約の改定について(塩見元代表)

- ・役員に名誉代表を追加することとし, 規約を一部改正した.

2) 25 周年記念シンポジウムについて

- ・シンポジウムの内容を確認した. 実行委員は旧幹事が担当. CPD に認定してもらうようにする.

3) 研究委員会について

- ・H13-14 年度の研究委員会(2 件)について, 総会にて報告してもらう.

H13-14 年度「撤去を伴わない橋梁の改良設計にかかわる検討」(山田代表)

H13-14 年度「移設再利用鋼トラス橋の性能評価の事例研究」(梶川代表)

- ・H15 年度の研究委員会テーマは次回の幹事会以降で募集方法等検討する.
- ・SGST 会則によれば, 委員会の発足は総会に諮ることとなっているが, 今期はテーマアップし, 委員の募集が出来次第スタートすることとする(総会にて幹事会へ一任の旨伝える).
- ・委員会の立ち上げ(テーマアップ, 委員長の選出)は容易に進まない面もあるため, 規約の改定も含め柔軟な対応ができるように, 委員会のあり方を検討すべきとの提案あり(若手研究者への研究奨励金的な方法, 企業から委員長の選出を行うなど).

4) H15 年度運営体制について

・事口代表(大同工大), 安藤幹事長(瀧上), 事務局: 中川(瀧上), 会計: 加藤(瀧上), 会計監査: 杉浦(日本構研情報), 議事録: 亀子(瀧上), 山田(トピー), 企画担当: 田中(中部復建), 牧野(玉野 C), HP: 岡本(パシフィック C), 研究会担当: 清水(信州大), 忠(豊田高専), 水澤(大同工大), 深田(金沢大), 小塩(名大), 海老澤(名工大) を確認

5) H15 年度定期研究会について

- ・第 1 回研究会(4/15)海老澤担当幹事
- 第 2 回研究会は 25 周年記念シンポジウム(6/27)を振り替え
- 第 3 回以降は未定

6) 見学会について

- ・本年度は中部地区でいくつか候補案件があるので, 本年度中に見学会を開催するように検討する.

7) SGST の研究会を CPD に認定してもらうように働きかけ

次回幹事会にて具体的に検討

8) その他

- ・会員の把握, 会費の徴収区分, 特別会員の位置付け等不明確な点について, 検討すべき.
- ・特別会員には, 研究会議事録, 資料等を出欠にかかわらず送付すべきか(前項にも関連).

以ト//